

人間と教育		単位数	履修方法	配当学年
		4単位	R or SR	1年以上
科目コード	AH1017	担当教員	寺下 明	



■科目の内容

今日の教育をめぐる課題は、どれ一つをとってみても、わたしたちひとりひとりの生き方を問い、未来の社会を決定づける問題です。学ぶ、知る、考える、成長するとはどういうことなのか。その営為に教育はどうかかわっているのか。暴力やいじめ、非行はなぜなくなるのか。不登校や学校崩壊はなぜ起こるのか。グローバル化、IT化、知識基盤社会の到来は、教育のあり方やわたしたちたちの生活や成長にどのような影響を及ぼしているのか。教育の改革は、どのように行われようとしているのか。

教育を問うということは、何をどのように問うことなのでしょう。まず、教育は、歴史・社会・文化のすべての全体的な関連のなかで営まれる活動です。それゆえに、わたしたちは、教育あるいは人間とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。なぜ、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは何か、に答えなければなりません。その問いに対する解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるでしょう。

■到達目標

- 1) 教育についての関心を深め、今後の学びのための基礎知識を説明することができる。
- 2) 教育の理念や教育に関する歴史および教育理論に関わる内容について説明できる。
- 3) 生涯学習の視点からの教育改革の動向や学校教育を取り巻く状況の変化、社会的な要請等について論じることができる。

■教科書（「教育原理」と同じ）

寺下明著『教育原理 第2版』ミネルヴァ書房、2013年

（最近の教科書変更時期）2013年4月

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	教育とは何か（1章）	教育とは何かについて学ぶ。 キーワード：伝達、就巢性、可塑性、生理的早産、社会化、狼に育てられた子	教育とは何かについて、人間は「教育的存在」とあるという視点から考えてみるのが重要。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
2	人間の成長・発達 (2章)	人間の成長の特徴を遺伝と環境の問題を踏まえて考える。 キーワード：タブラ・ラサ説、環境閾値説、三歳児神話	子どもの成長と発達の特徴を、とくに文化的環境や教育との関連で考えてみる。
3	脳科学からみた発達 (2章)	脳科学の成果から、教育の問題について考えてみる。 キーワード：アタッチメント、社会脳、利己的な遺伝子、文化化	社会脳説を中心に、人間は文化環境によってつくられるのかを検討してみたい。
4	子ども観と子育て①西欧の子ども観 (3章)	西欧の子ども観の変遷をたどる。 キーワード：小さな大人、精神白紙説、近代家族、子どもの誕生	歴史の中で、さまざまな子ども観をたどることによって、子どもと大人の関係について考えてみる。
5	②日本の子ども観 (3章)	日本の子ども観と子育てについて学ぶ。 キーワード：子宝思想、母性原理社会、甘え、恥の文化、七歳までは神のうち	子ども観と子育てのあり方を欧米と比較しながら、日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにしたい。
6	教育の目的①古代・中世の教育目的 (4章)	教育の理想ないし目的が、時代や社会とともに変化し、国家や社会の事情によって異なることを概観する。 キーワード：ソフィスト、イデア、ロゴス、自由七科	古代の教育目的の根底にどのような子ども観や人間観があるのかを考えてみたい。
7	②ルネッサンス期・近代の教育 (4章)	ルネッサンスおよび近代の教育の特徴について学ぶ。 キーワード：人文主義教育、公教育、新教育	近代においてさまざまな教育改革が行われたが、その背景にあるルソーやペスタロッチ、コンドルセ、デューイの教育理論についても理解しておきたい。
8	③日本の近代教育 (4章)	日本の近代における教育の目的を理解する。 キーワード：学制、教育勅語、大正自由教育	「富国強兵」を国家の目標に掲げた近代日本の義務教育の制度はどのような教育観であったのか考察を加えたい。
9	④日本の戦後教育 (4章)	戦後教育の教育理念について理解する。 キーワード：アメリカ教育使節団、教育基本法	教育の目的は何か、何のための教育かを問うことは、教育によって実現される価値や意義を追求し、教育の本質を明らかにすることにもなる。
10	日本の近代化と教育①江戸時代の教育遺産 (5章)	日本が近代化に成功した要因として、近代以前における教育の普及と充実を理解しておきたい。 キーワード：寺子屋、藩校、私塾	江戸時代にはさまざまな教育の場があり、豊かな教育活動が行われていた。その中でも、庶民の教育機関であった寺子屋について、その現代的意義を学んでおきたい。
11	②儒教の伝統 (5章)	儒教が近代化の原動力になったのかを検証する。 キーワード：儒教文化圏、社会倫理	儒教をはじめ江戸時代のバラエティーに富んだ教育が、日本の近代化に貢献したことを考察したい。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
12	③立身出世と学校 (5章)	学問や教育が立身出世につながるということが、以後の日本の社会の基本信念となり、学校信仰を生み出していくことを学ぶ。 キーワード：札幌農学校、科举、学歴社会、近代公教育	日本における学校の優越性は、お上の学校の性格としてだけでなく、民衆の側から見て、実利的効用という点で、学校はその価値を認められるようになったことを理解したい。
13	現代教育に問われているもの①戦後教育 (6章)	戦後教育の流れを学習指導要領の変遷を通して学ぶ。 キーワード：スプートニク・ショック、落ちこぼれ、不登校、いじめ、学級崩壊	学習指導要領改訂の変遷をたどりながら、現代社会の縮図としての学校教育の問題点を検討する。
14	②生涯学習と教育改革 (6章)	これからの教育をどのように構想していけばよいのかを探究する。 キーワード：学習社会、自己実現、ラーニング・トゥー・ビー	さまざまな学校教育の改革を生涯学習体系のなかに位置づけて展望したい。
15	③学校教育の課題 (6章)	学校教育の抱える課題について考える。 キーワード：ハイパー・メリトクラシー、隠れたカリキュラム	学校教育の課題については、教育は理想社会をめざして、現実を自ら作り変えられるような人間を育成するところに求められているという視点から考えてみたい。

■レポート課題

1 単位め	人間は「教育的存在」であることを踏まえて、「教育」について定義しなさい。
2 単位め	子どもの発達における「素質と環境」の問題について、考えを述べなさい。
3 単位め	日本の子ども観と、子育ての日本の特質について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	日本の近代公教育の特徴について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

■アドバイス



教育とは何かについて、カントの「人間は教育されねばならない唯一の被造物である」という言葉の意味を考慮して、まとめてください。テキスト1章を参考にしてください。



子どもの発達をめぐる問題は、諸科学の研究成果をもとにした人間としての「事実」に立脚することが重要です。そして、さらに重要なことは、人間は歴史的・社会的環境をもち、「意味」のある世界に生きているということです。したがって、発達をめぐる問題は、事実としての人間と、価値に関わる社会や文化の領域（広い意味での環境）を包含せざるを得ないのです。こうした視点から、子どもの発達の特徴を教育との関連で考察してください。テキスト2章を参考にしてください。

3 単位め アドバイス

子どもをどう見るか、子どもはいかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に大人や人間とは何かを問い直してみましょう。さらに、子育てのあり方を欧米と比較しながら、日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにします。テキスト3章を参考にしてください。

4 単位め アドバイス

日本の近代化は、黒船ショックによって路線が選択されました。「富国強兵」「殖産興業」を近代化の目標に掲げ、国家による強制教育の制度を確立し、短期間のうちに合理的かつ機能的に近代化に必要な知識技能を国民に身につけさせることでした。こうして中央集権的教育行政、画一的教育が行われることになりました。そのような背景を理解し、近代日本の公教育の特徴についてまとめてください。テキスト4章、5章を参考にしてください。

■科目修了試験 評価基準

- 1) 問題の意図を正しく理解し、問題にそって論理的に解答がなされている
 - 2) 自分なりの視点をもって、問題に取り組んでいる
 - 3) 専門用語の意味などについて、正確に理解している
- などを基準に評価する。

■参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。